

藤本理事長の

くらで病院スタッフ
からの健康
アドバイスです

調子はいかが？

くらで病院 ☎ (42) 1231



ADVICE Health

前立腺肥大症について

年齢を重ねることにより排尿の異常は性別を問わずほぼすべての人が経験するものであり、うまく付き合っていくことが大事です。ここでは、男性の排尿障害の原因として頻度が高い前立腺肥大症についてお話します。

排尿の仕組みとその異常は？

腎臓から流れてくる尿は、膀胱に溜められ、いっぱいになると尿道を通して体の外に排泄されます。排尿の異常は、尿を溜める膀胱の働きの異常、尿の通り道である尿道の異常が原因です。男性の場合、最も多い尿道の異常が前立腺肥大症です。

前立腺肥大症の症状は？

夜おしっこに起きるようになる、尿の勢いが弱くなる、排尿に時間がかかる、排尿後残った感じがする、排尿後に少し漏れるなどがあります。寒い時期や飲酒後、風邪薬を飲んだ時などに全く尿を出せず苦しい状態になることもあります。

前立腺肥大症が疑われたらどんな検査をしますか？

検尿、超音波検査、排尿の勢いと残尿量の測定が主で、体に負担がかかる検査はありません。これに加え、男性で最も多いといわれる前立腺癌の検査のための採血をすることがあります。

治療は必要ですか？

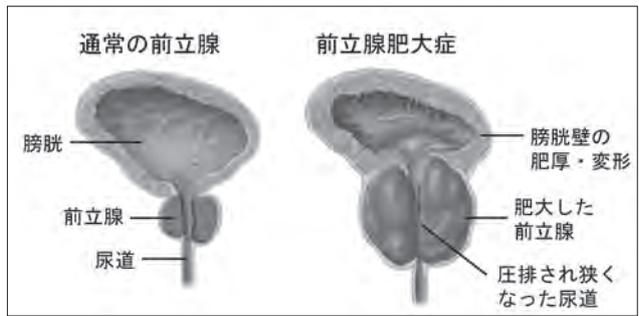
前立腺肥大症のすべての方に治療が必要

ということはありません。しかし、排尿の症状が気になる、または困っている場合は、治療により生活の質を向上できる可能性があります。

また、残尿が多い場合には、膀胱炎などを起こしやすく、長期に及べば、膀胱の機能障害、膀胱結石、腎臓の機能低下を引き起こし、時には重篤な状態となります。夜間何度もトイレに起きる場合には転倒、それに伴う骨折の危険性も高まります。そのため、治療が必要かどうかを知るためにも、泌尿器科を受診していただくことをお勧めします。

どのような治療を行いますか？

適度な水分摂取、過剰なアルコール摂取を避ける、適度な運動を行うなどの生活習慣の見直しと、内服薬による治療を行います。内服治療により十分な効果が認められない場合は、手術をお勧めします。手術は尿道から内視鏡を入れて電気やレーザーで大きくなった前立腺を切除したり焼いたりします。最近では非常に体に負担が少ない内視鏡治療もありますので、泌尿器科にご相談ください。



藤本 直浩 ふじもと なおひろ プロフィール



1984年 鳥根医科大学医学部（現鳥根大学医学部）卒業
1984年 産業医科大学病院 臨床研修医、専修医（泌尿器科）
1985年 原三信病院へ出向・派遣
1987年 産業医科大学医学部泌尿器科助手
1990年 福島労災病院へ派遣
1996年 米国ウイスコンシン大学 Comprehensive Cancer Center
1997年 米国ロチェスター大学 George Whipple Lab for Cancer Research

1998年 北九州市立戸畑病院泌尿器科部長
2000年 産業医科大学泌尿器科学講座講師
2003年 産業医科大学医学部泌尿器科学講座助教授（現准教授）
2015年 産業医科大学医学部泌尿器科学講座教授
2018年 産業医科大学病院 がんセンター長
2020年 産業医科大学若松病院 病院長
産業医科大学病院 副院長
2024年 4月より地方独立行政法人くらで病院 理事長